



Smart Detax

TAX FREE SHOP powered by Smart Detax

アプリ利用マニュアル iPhone / android 共通

本マニュアルを読んでも解決しない場合には
右記をご利用ください。

- スマートデタックスは、スマートテクノロジーズ&リソーシーズ株式会社の登録商標です。
- 本資料には弊社に帰属する特許知財情報が含まれています。
- 本資料はサービス利用契約中ユーザー向けの守秘義務対象資料です。
許可なく公開や複製することを禁止致します。

すぐ解決!よくある質問

<https://smartdetax.com/faq/>

サポートメール

support@smartdetax.com

サポートコール(365日/9:00~22:00)

050-8882-6886

免税アプリのダウンロードは
下記QRコードにアクセス!

iPhone用



Android用



改訂履歴

INDEX

はじめに

- 0-1 「お申し込み」から「利用開始」までの流れ
- 0-2 システム構成～企業本部/店舗/オペレータ/デバイスの役割
- 0-3 事前準備登録～店舗登録・オペレータ登録・デバイス登録
- 0-4 ログインIDとパスワードについて
- 0-5 よくある質問(免税可否判定ツールなど)

利用開始

- 1-1 免税手続きをスムーズにする4つのポイント
- 1-2 デバイスの新規登録
- 1-3 デバイスの認証
- 1-4 ログイン

操作練習(推奨)

- ※ 免税アプリ「練習モード」のススメ

共通の操作

- 2-1 免税手続き
- 2-2 免税手続き >パスポートのスキャン
- 2-3 免税手続き >パスポートスキャン結果の確認
- 2-4 免税手続き >上陸許可シールのスキャン
- 2-5 免税手続き >スキャン結果の確認または入国情報の手入力
- 2-6 免税手続き >一時帰国の日本人の対応
- 2-7 免税手続き >米軍関係者の対応
- ※ 海外在住証明自動作成サービスの活用
- 2-8 免税手続き >VisitJapan2次元コードによる免税
- 2-9 免税手続き >転売ヤーの検知

クリック入力の使い方

- 3-1 免税手続き >商品情報の入力
- 3-2 免税手続き >免税購入の可否判定
- 3-3 免税手続き >国税庁サーバーへの送信
- 3-4 免税手続き >送信完了
- 3-5 免税手続き >一般品を消耗品に変更する方法
- 3-6 免税手続き >オフラインモード

POS連動モードの使い方

- 4-1 免税手続き >商品情報の入力
- 4-2 免税手続き >国税庁サーバーへの送信
- 4-3 免税手続き >送信完了
- 4-4 免税手続き >一般品を消耗品として免税する方法
- 4-5 免税手続き >オフラインモード

免税履歴の表示・取消返品の処理・訂正の処理

- 5-1 免税履歴の表示 >デフォルト表示
- 5-2 免税履歴の表示 >日付期間で検索
- 5-3 免税履歴の表示 >パスポート番号またはレシート番号で検索
- 5-4 取消・返品の処理
- 5-5 訂正の処理
- 5-6 免税手続き >過去旅券データの復元

お知らせ機能

- 6-1 本社/アプリからのお知らせ表示

操作練習について(再掲)

- 7-1 免税アプリの操作練習方法(再掲)

まとめ

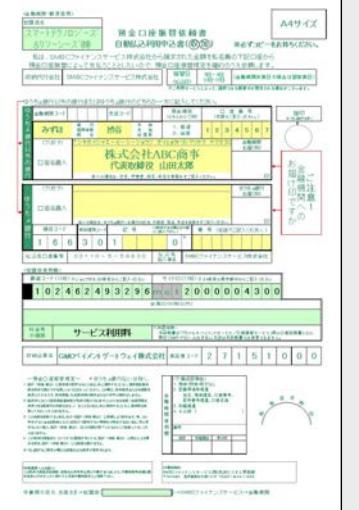
- 8-1 免税購入が可能な条件(2023年4月1日からのルール)
- 8-2 外国人(短期滞在・外交・公用)の免税
- 8-3 日本人(一時帰国)の免税(2023年4月1日からのルール)
- 8-4 外国人(米軍関係者)の免税
- 8-5 外国人(上陸許可書 旅券写しアリ・写しナシ)の免税
- 8-6 外国人(ビジットジャパンアプリ)の免税(2023年4月1日からのルール)

はじめに

「お申し込み」から「利用開始」までの流れ

お申し込みから電子免税開始までの流れは以下の通りです。

- | | |
|---------------------------------------|-------------|
| ① サービス利用申込書のご提出。(郵便) | (お客さま ⇒ 当社) |
| ② 企業管理システムの利用アカウント(ログイン情報)の発行。(電子メール) | (当社 ⇒ お客さま) |
| ③ 操作マニュアル(PDF/VIDEO)の提供。 | (当社 ⇒ お客さま) |
| ④ 事前準備登録(店舗登録・オペレータ登録・デバイス登録&認証)の実施。 | (お客さま) |
| ⑤ 操作練習および送信トライアルの実施。 | (お客さま) |
| ⑥ 免税販売の開始。 | (お客さま) |

<p>サービス利用申込書</p> 	<p>口座振替依頼書</p> 
--	---



下記の書類(原本)を当社にて郵送下さい。

- ・サービス利用申込書
- ・口座振替依頼書



販売場識別符号(12桁)を所轄税務署にて
入手してください。

システム構成

～企業本部/店舗/オペレータ/デバイスの役割

スマートデタックスは **企業管理システム / 店舗管理システム / 免税アプリ** の3システムで構成されています。

企業管理システム: 全店舗・全店オペレータ・全店デバイスの新規登録と管理。全店の免税データの管理と集計。企業本部責任者が利用します。

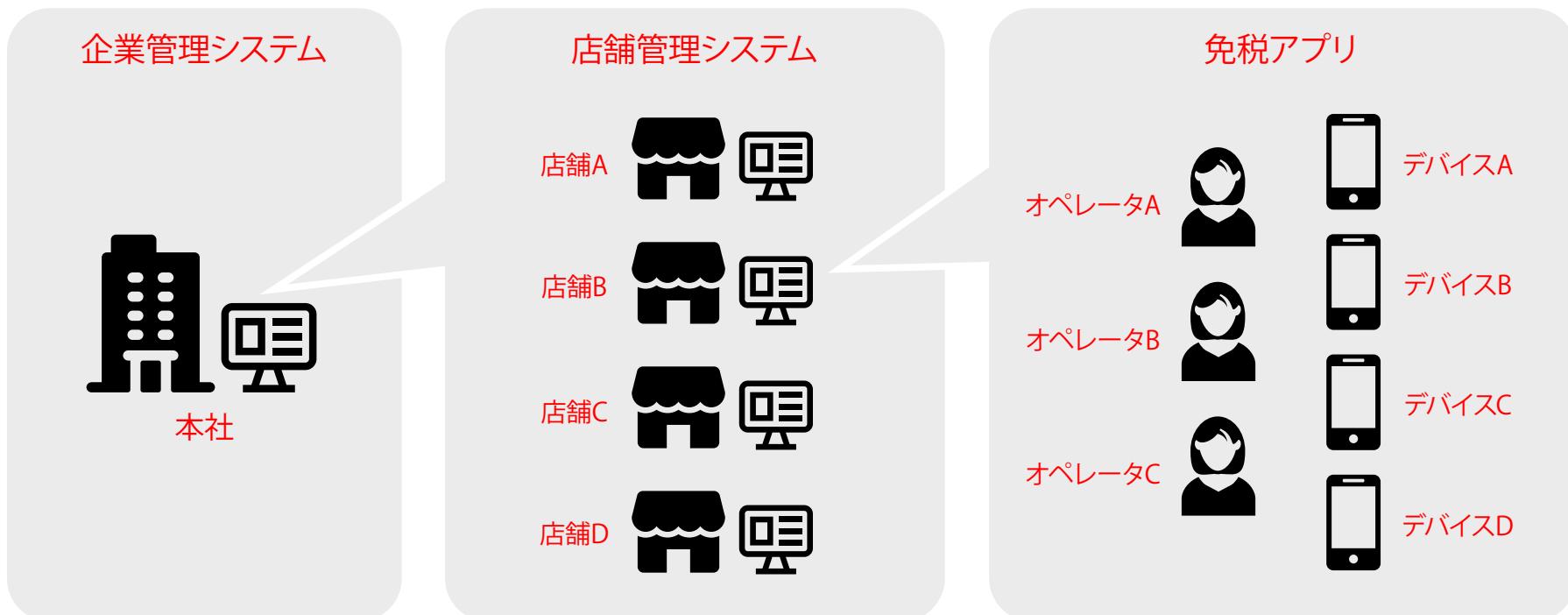
店舗管理システム: 自店オペレータ・自店デバイスの新規登録と管理。自店の免税データの管理と集計。店舗責任者が利用します。

免税アプリ: 免税販売手続きの実行。店舗スタッフが利用します。

オペレータ とは、免税アプリにログインし利用するためのアカウント単位のことです。各店舗に所属します。

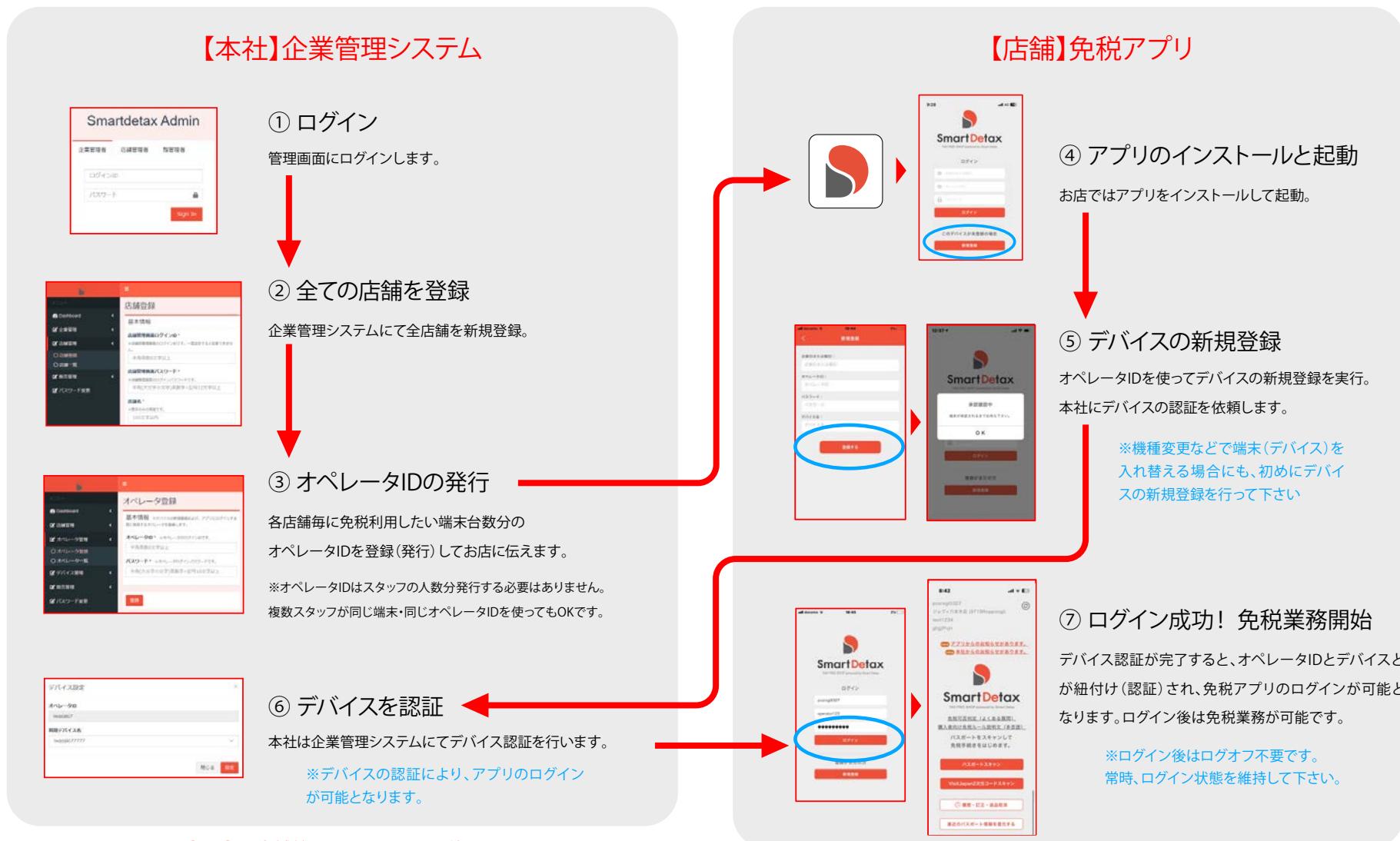
デバイス とは、スマホやタブレットなどの操作端末のことです。

※店舗管理システムのご利用は任意です。店舗には管理システムを利用させないことも可能です。



スマートデタックスでは、店舗・オペレータ・デバイス(端末)を自由に登録できます。

利用開始の事前準備として **店舗登録** → **オペレータ登録** → **デバイス登録** → **デバイス認証** の順に行って下さい。



ログインIDとパスワードについて

企業管理システム・店舗管理システム・免税アプリを利用するには、ログインIDとパスワードが必要です。

- **企業ID/企業ログインID/初期パスワード** → **契約時に当社が発行しあ渡します。**企業アカウント通知書に記載されています。
 - **店舗ログインID/オペレータID** → **企業管理システムを使ってお客様ご自身で発行して下さい。**
- ※各ログインIDは変更不可、各パスワードは任意に変更可です。どちらも大切に保管管理してください。

各システムにログイン時に必要なログインIDおよびパスワード

ログインに必要な情報 / ログイン対象 システム名	企業管理システム	店舗管理システム	免税アプリ(デバイス)
企業ID	-	●	●
企業ログインID	●	-	-
店舗ログインID	-	●	-
オペレータID	-	-	●
パスワード	○(変更可)	○(変更可)	○(変更可)
2段階認証コード	○(変更可)	△(変更可)	-

よくある質問(免税可否判定ツールなど)

免税販売可否の判定、免税手続き、アプリの使い方など、よくある質問と回答集です。

免税法令やアプリ操作に困った時に、ご活用ください。

PCブラウザで下記URLにアクセス

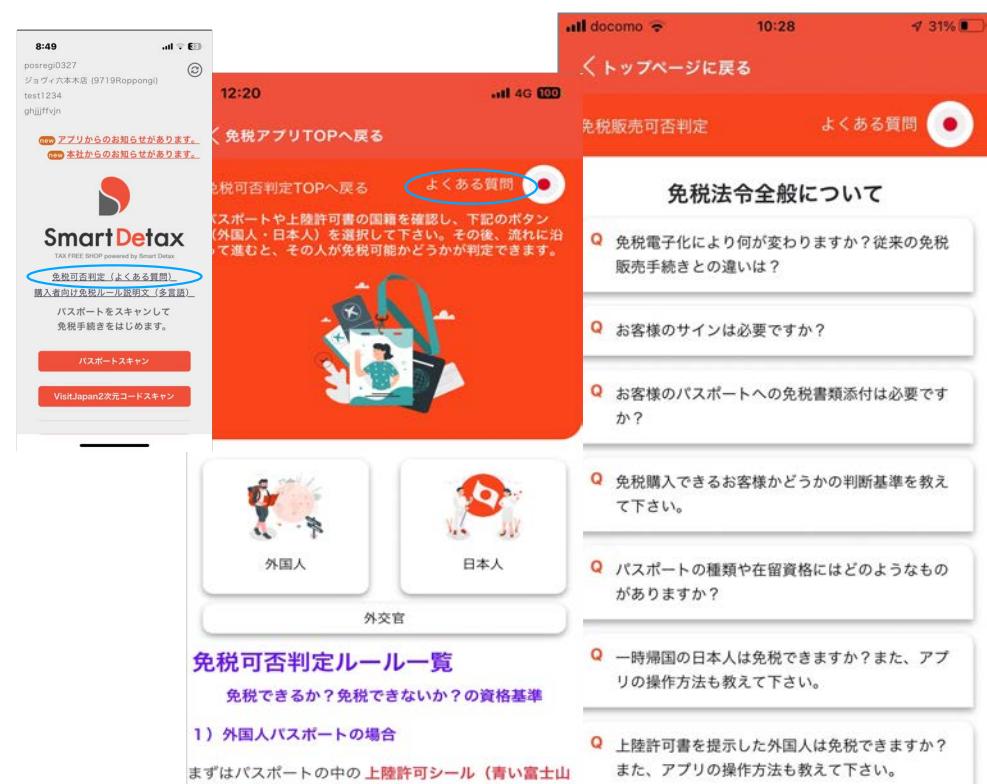
<https://smartdetax.com/faq/>



PCサイト

アプリトップ画面 **免税可否判定(よくある質問)**ボタン をタップ

このお客様は免税できるか? 免税できないか? 免税可否を判定できます。



免税アプリ

利用開始

免税手続きをスムーズにする4つのポイント

アプリにログインしておきましょう。

アプリマニュアル 1-3参照

いつでも免税できる様、アプリは常時ログイン。毎回ログオフは不要。ログイン情報は店内で必ず共有。

企業ID

オペレータID

オペレータパスワード



免税可否判断ツールやFAQを利用しましょう。

アプリマニュアル 0-5参照

このお客様には免税販売できる? できない? アプリで簡単に判定できます。

在留資格と入国日

非居住者証明書類

大使館カード

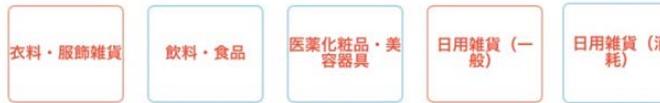
免税できる? 免税できない?



商品ボタンをカスタマイズしておきましょう。

アプリマニュアル 3-1参照

販売商品ジャンルに合わせて商品カテゴリーのボタンは必ず調整。
使いやすい順番に整列。
余計なボタンは非表示化。
必要最小限のボタンだけにしておく。

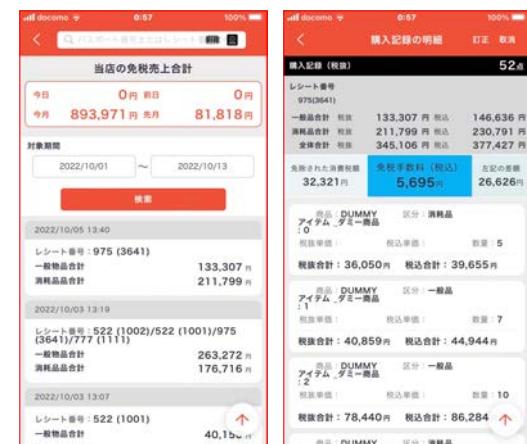


アプリで免税の訂正や取消が可能です。

アプリマニュアル 5-4, 5参照

アプリでも過去免税データの検索・訂正・取消が可能です。
アプリは最新バージョンを使いましょう。

アプリ最新版
Ver1.1.7 以上



デバイスの新規登録

初めて利用するデバイス(端末)の場合、すぐにはログインできません。そのデバイスの新規登録が必要です。

社内のシステム管理者(本社または店長)から支給されたログイン情報(企業ID/オペレータID/パスワード)を使って、デバイス新規登録を行って下さい。

なお、操作の際には、デバイスがインターネットに接続していることを必ず確認して下さい。



初めて利用するデバイス(端末)の場合、すぐにはログインできません。そのデバイスの新規登録と認証が必要です。セキュリティ対策のため、このような仕組みになっています。
 必ず、デバイスの新規登録を行ってからご利用ください。
 機種変した場合もデバイス新規登録が必要です。
 デバイス名の指定を受けていない場合には、あなたが自由に決めて下さい。
 英数字8文字以上です。

 **最重要**

① 「新規登録」を押すと「個人情報の取り扱い」が表示されますので「OK」を押して下さい。



② 「企業ID」を入力します。

③ 「オペレータID」を入力します。

④ 「パスワード」を入力します。

⑤ 「デバイス名」を入力します。(任意の文字列を設定)
 ※システム管理者からデバイス名の指定がない場合には、あなたが自由に決めて下さい。お好きな英数字8文字以上。

⑥ 「登録する」を押します。

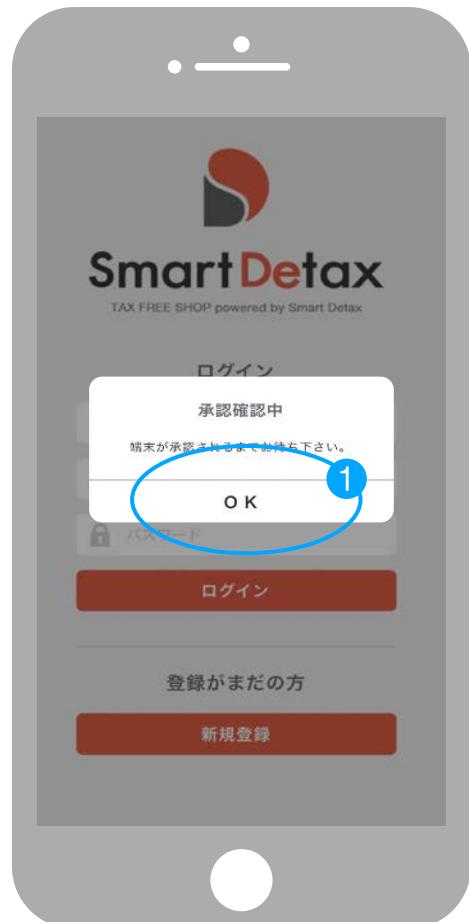
⑦ システム管理者(本社または店長)にデバイス承認を依頼して下さい。

デバイスの認証

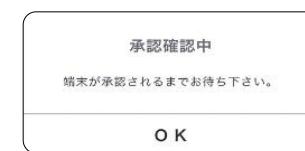
デバイス新規登録を行っても、アプリはすぐに利用開始できません。

社内のシステム管理者（本社または店長）によるデバイス認証が必要です。

デバイス新規登録を終えたらば、社内のシステム管理者にデバイス認証を要請して下さい。



- 1 「新規登録」に成功すると、画面に「承認確認中」と表示されます



【注意】 登録失敗となる場合は

- 1) デバイスがインターネットに接続できていますか？
- 2) 企業ID／オペレーターID／パスワードを誤りなく入力していますか？大小文字・半角・記号など。
- 3) それでも解決しない場合は、システム管理者に、オペレーターIDとパスワードの再発行を依頼して下さい。

- 2 システム管理者が、企業管理システム>オペレーター一覧ページにて、
デバイス(端末)認証を行います。

- 3 デバイス認証されると、「企業ID」「オペレーターID」「パスワード」を使って
 アプリにログインすることができます。

【注意】 ログインが失敗となる場合は

- 1) デバイスがインターネットに接続できていますか？
- 2) 企業ID／オペレーターID／パスワードを誤りなく入力していますか？大小文字・半角・記号など。
- 3) それでも解決しない場合は、システム管理者に、オペレーターIDとパスワードの再発行を依頼し、再度、新規登録から
 やり直して下さい。新規登録をやり直しする際には、前回とは違うデバイス名を入力して下さい。

デバイス認証後、すぐにアプリへのログインが可能となります。

社内のシステム管理者(本社または店長)から支給された**ログイン情報**(企業ID/オペレータID/パスワード)を使ってログインして下さい。



- 1 「企業ID」を入力します。
- 2 「オペレータID」を入力します。
- 3 「パスワード」を入力します。
- 4 ログインをタップします。
- 5 「個人情報の取り扱い」が表示されますので「OK」を押して下さい。

最重要

- ・免税業務終了後のログオフは不要です。毎回ログインする手間が省けます。
- ・ログイン後には、アプリやバッテリーを再起動してもログイン状態が保持できます。
- ・ログオフしてしまった場合には、再度、同じログイン情報を入力すれば再ログインできます。新規登録をやり直す必要はありません。

ログインできた後は、ログオフ不要。ずっとログインした状態にしておきましょう。
 ログイン情報は店内で大切に保管し、店舗スタッフの皆さんで情報共有しましょう。

操作練習 (推奨)



免税アプリ「練習モード」のススメ

本マニュアルは、端末を「練習モード」に設定し、端末操作をしながらお読みいただくと、大変効果的です。

練習モードの設定

アプリの設定画面を開き、練習モードのスイッチをONしてください。それにより免税処理をしてもデータはサーバーに送信されず、アプリ単体での操作練習が可能です。

【重要注意】

練習後はテストモードスイッチを必ずOFF(白)にしてください。
テストモードのままで、データ送信がされず、実際の免税処理が
できません。

iOS版

- 1 iOSの設定画面を開く。
- 2 SmartDetaxのアイコンをタップ。
- 3 テストモードをONにする。



Android版

- 1 アプリのトップページを開く。
- 2 設定ボタンをタップ。
- 3 テストモードをONにする。



送信後データを取り消す

アプリまたは管理システムの取り消し機能を利用し、送信した免税データを取り消して下さい。取り消し処理を行うことにより、国税庁サーバーにも取消データが送信されるため、免税手続きを無効にできます。

【重要注意】

練習後は送信した練習データを必ず取り消してください。
取り消ししないと、本番の免税データ扱いになってしまいます。

送信したデータの取り消しは
5-4をご覧ください。

共通の操作

免税手続き

ログイン後のトップページです。以後はログイン状態が保持されますので、毎回ログインする必要はありません。万が一、ログオフボタンをタップしログアウトしてしまった場合でも、再度、同じログイン情報でログインが可能です。
 なお、通常は、ログオフする必要ありません。ログイン状態のままにしておきましょう。



- 1 このデバイス(端末)が所属している、企業ID、店舗名(店舗ID)、オペレータID、デバイス名が表示されます。初回利用開始前に、念の為、①正しいかを確認してください。
- 2 端末設定情報のリロード(更新)ボタンです。企業管理システム側にて各種設定情報を変更した場合に、当該リロードボタン(またはパスポートスキャンボタン)をタップすると、管理システム側の変更内容をアプリ側に取り込むことが可能です。
- 3 免税を開始する場合は「パスポートスキャン」をタップします。
- 4 免税履歴の確認、過去データの取消返品や訂正は「履歴・訂正・返品取消」ボタンをタップします。
- 5 ログアウトしたい場合には「ログオフ」をタップします。
- 6 免税法令、免税可否判定、よくある質問をまとめています。
- 7 購入者に向けた、免税法令が多言語で表示されます。
- 8 VisitJapanのQRコードを利用して免税を開始する場合は「VisitJapan2次元コードスキャン」をタップします。
- 9 バージョンアップ等のアプリに係る重要なお知らせを表示します。
- 10 貴社ご本社からのお知らせを表示します。
- 11 途中で免税処理を中断し消去してしまった過去旅券データを、アプリ画面に復元できます。



最重要

- ・免税業務終了後のログオフは不要です。毎回ログインする手間が省けます。
- ・ログイン後には、アプリやバッテリーを再起動してもログイン状態が保持できます。
- ・ログオフしてしまった場合には、再度、同じログイン情報を入力すれば再ログインできます。新規登録をやり直す必要はありません。

免税手続き > パスポートのスキャン

いよいよ免税業務の開始です。パスポートスキャンボタンをタップするとカメラが起動します。

フレーム下の○印をタップするとパスポートを瞬時に読み取ります。



- 1 パスポートスキャンをタップします。

※初回ご利用時の「カメラへのアクセスを求めています」と表示されますので、「OK」をタップください。



- 2 パスポートの写真ページの下方部分(水色枠内)をカメラフレーム内に写し、画面下の白丸ボタンをタップすると、ボタンが赤くなり読み取りを開始します。

デバイスはタテ・ヨコ撮影に対応しています。



※赤い状態はパスポート読み取りを行っている状態です。

【注意】上陸許可書について…上陸許可書には、船舶/乗員/緊急/避難上陸許可書などの種類があります。パスポート無しで上陸許可書だけで免税が可能です。

上陸許可書と共にパスポート原本やパスポートコピーを提示された場合には、パスポートコピーをスキャンしてください。

上陸許可書のみを提示された場合には、白丸ボタンをタップし3秒経過するとパスポート情報入力画面に移行しますので、旅券等種類=「上陸許可による入国」を選択します。

免税手続き > パスポートスキャン結果の確認

読み取り結果を確認し「上陸許可シールスキャン」または「入国情報の手入力」ボタンをタップして下さい。



1 読み取りに失敗した場合は画面左上の「<」マークを押すと、再度、パスポートスキャン画面に戻ることが出来ます。

2 必ずスキャン結果を確認して下さい。

【注意】 旅券の汚れ等により、読み取りが出来なかった場合は、手入力(キーボード入力)が可能です。その場合、入力したい欄をタップして下さい。

購買履歴チェックボタン(全店のnヶ月間)

購買履歴チェックをタップするとこのお客様の全店舗におけるnヶ月間の購入履歴(金額や回数)の一覧が表示されます。

3 「上陸許可シールスキャン」または「入国情報の手入力」ボタンをタップします。



180日間の購買履歴 (全店)	
売上合計: 13,071,102 円 (購入回数 58回)	
2024/05/31 09:44	ジョヴィ六本木店
レシート番号: 3952495423345(24954)	
一般物品合計 (30回)	29,260 円
消耗品合計 (0回)	0 円
2024/05/29 11:26	STERA デモ店
レシート番号: 11111(11111)	
一般物品合計 (21回)	98,682 円
消耗品合計 (26回)	89,274 円
2024/05/29 10:32	STERA デモ店
レシート番号: 11111(11111111)	
一般物品合計 (12回)	40,548 円
消耗品合計 (7回)	66,438 円
2024/05/27 15:40	ジョヴィ六本木店
レシート番号:	
一般物品合計 (3回)	60,000 円
消耗品合計 (0回)	0 円
2024/05/14 14:31	ジョヴィ六本木店
レシート番号:	
一般物品合計 (0回)	0 円
消耗品合計 (12回)	90,000 円

免税手続き > 上陸許可シールのスキャン

上陸許可シールスキャンボタンをタップするとカメラが起動します。

フレーム下の○印をタップすると上陸許可シールを瞬時に読み取り、シールに記載の在留資格及び入国日(許可年月日)が自動的に表示されます。



免税手続き >

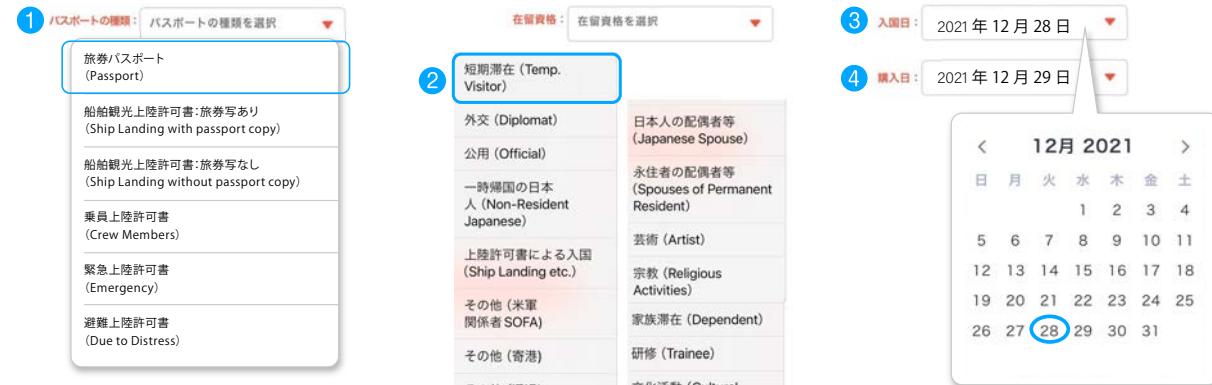
スキャン結果の確認または入国情報の手入力

パスポート種類、在留資格、入国日を確認、または、手入力して下さい。



実際のパスポートを見ながら下記項目を設定します。

- ① パスポートの種類(ほとんどのお客様は旅券パスポート。上陸許可書の場合はその種類を選択。)
- ② 在留資格(上陸許可シールの記載を確認。ほとんどのお客様は短期滞在)
- ③ 入国日(上陸許可シールの許可年月日を確認)
- ④ 購入日(通常は当日)



上陸許可書による入国の場合には、
 ①パスポートの種類=上陸許可書名を選択
 ②在留資格=上陸許可書による入国を選択
 ③入国日=上陸許可書に記載の日付を選択

- ⑤ 確認後「購入記録の入力へ」をタップします。

一時帰国日本人の場合には、
 ①パスポートの種類=旅券パスポートを選択
 ②在留資格=一時帰国の日本人を選択
 ③入国日=帰国印に記載の帰国日を選択

米軍関係者の場合には、
 ①パスポートの種類=旅券パスポートを選択
 ②在留資格=その他(米軍関係者)を選択
 ③入国日=SOFAスタンプに記載の日付を選択

免税手続き > 一時帰国の日本人の対応

一時帰国の日本人に対して免税販売を行う場合は、海外に在住していることを証明する書類(在留証明書 or 戸籍附票)の原本確認が必要です。原本確認後、アプリを使って、当該書類の記録(スキャン撮影もしくは記載内容の手入力)を行って下さい。



- 1 日本人の場合「旅券パスポート」が自動選択されます。
- 2 日本人の場合「一時帰国の日本人」が自動選択されます。
- 3 入国日(帰国印の年月日を確認)を入力して下さい。
- 4 スキャンカメラを利用する場合

スキャンカメラをタップするとカメラが起動します。必要書類の撮影を行なって下さい。なお、書類発行期間(6ヶ月以内)および海外居住期間(2年以上)の有効性をアプリにチェックさせたい場合には、発行日と住所を定めた日も入力して下さい。

5 手入力の場合

戸籍附票の場合は「発行日」「本籍地」を入力して下さい。
海外在留証明の場合は「発行日」「本籍地」「発行元大使館名」「発行番号」を入力して下さい。

最重要

- ・証明書類の記録は、**4**スキャンカメラまたは**5**手入力のいずれか1つの方法で構いません。両方は不要です。
- ・記録方法は、手入力のみ/スキャンのみ/両方のいずれかに変更可能です(企業管理システムで変更可能。デフォルト設定は両方。)
- ・手入力はQRコードによる自動入力(次頁)も可能です。

- 一時帰国日本人の場合には、
- 1 パスポートの種類=旅券パスポートを選択
 - 2 在留資格=一時帰国の日本人を選択
 - 3 入国日=帰国印に記載の帰国日を選択

スキャンのみ



手入力のみ





海外在住証明自動作成サービスの活用

- 一時帰国日本人のお客様にご自身の海外在住証明情報をセルフ入力いただき、事前にQRコードをご用意いただきます。
免税アプリはそのQRコードを読み取ることができます。
- 作成されたQRコードをお客様のスマホに保存いただくことで、全国のSmartDetax導入店でご利用可能です。

お客様がご自身のスマホでアクセス



免税ショッピング前に
必要情報を入力

【menzei.jp】

一時帰国日本人向け
海外在住証明自動作成サービス



スマホでアクセスできる
モバイルサイトです。
商業施設全体や店舗内に
掲載しておきましょう。

お客様のスマホ画面



旅行中の免税ショッピングで
大幅な時短が実現します

日本全国のSDX導入店で



免税手続き > 米軍関係者の対応

米軍関係者のパスポートには上陸許可シールの代わりに、パスポートにSOFAスタンプが押されています。
SOFAスタンプには、「Status of Forces Agreement」または「SOFA」の文言が記載されています。



① 入国情報の手入力をタップします。



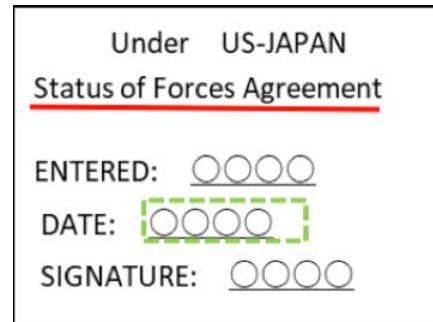
米軍関係者の場合には、

- ① パスポートの種類=旅券/パスポートを選択
- ② 在留資格=その他(米軍関係者)を選択
- ③ 入国日=SOFAスタンプに記載の日付を選択

② 在留資格は、その他(米軍関係者SOFA)を選んで下さい。

③ 入国日はSOFAスタンプに記載のDATEを入力して下さい。

※SOFAスタンプのサンプル



免税手続き > VisitJapan2次元コードによる免税

お客様がVisit Japanの2次元コードを提示された場合、パスポート提示なしで免税手続きが可能です。

なお、当該2次元コードは、「短期滞在・外交・公用」のお客様がご自身のスマホで作成し店頭で提示します。

2次元コードが無効・期限切れ・不正等である場合、免税アプリが警告します。その場合、通常のパスポートによる免税確認を行なって下さい。



① Visit Japan2次元コードスキャンをタップします。

② お客様がスマホで提示する2次元コード(QRコード)を免税アプリでスキャン

③ パスポート情報が自動入力されます。

④ 入国情報が自動入力されます。

免税手続き > 転売ヤーの検知

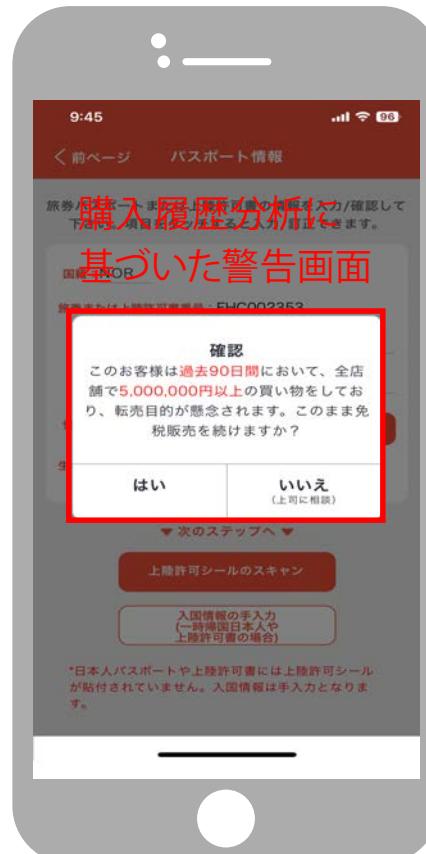
転売ヤー（国内転売を目的とした大量購入者）をアプリが検知し、操作画面に警告表示します。

大量購入の閾値（全店舗における購入期間、購入回数、購入金額）は、企業管理システムより設定が可能です。



設定可能な項目
 ○ 対象店舗（全店）
 ○ 対象期間
 ○ 購入個数
 ○ 購入金額

- ① パスポート顔写真ページを
アプリでスキャンします。
- ② 企業管理システムに設定
された閾値を元に、全店
舗における購買履歴を即
時チェックします
- ③ 閾値に該当した場合、転売ヤー
疑いの警告を表示します。



「はい」を選択すると次の免税手続きに進めます。
 「いいえ」を選択すると手続きを停止します。

クイック入力の使い方

免税手続き >商品情報の入力

購入した商品明細情報を入力します。



- 1 「商品」は「商品カテゴリー」から選択できます。
- 2 「数量」を入力します。
- 3 「税抜合計」or「税込合計」を入力します。
- 4 入力完了後、右上の「確認へ」をタップします。
- 5 商品カテゴリーが複数ある場合には、+ボタンで追加入力が可能です。
- 6 入力全体を間違えた場合には、×で削除して下さい。
- 7 レシート番号の記録も可能です(任意)。QRアイコンを押すとカメラが起動し、レシートバーコード(レシート番号)を読み取ります。

レシート番号の記録により、後日、レシート番号による免税履歴の検索や免税データとPOSデータとの突合が可能となります。

■ 最重要 商品カテゴリー入力の効率化

免税アプリ操作の際、商品カテゴリー入力は大分類(部門レベル)で構いません。商品明細単位に入力する必要は無いので、自社商品に合わせて商品カテゴリーボタンをカスタマイズし、免税アプリの入力効率をアップしましょう。(表示順や表示有無の変更、ボタンの新設追加など)

例) ファッション全般を販売している場合

「服飾品・服飾雑貨」という商品カテゴリーボタンを1つだけ用意します。

シャツ2点 9,000円、セーター1点 8,000円、靴1点 7,000円、ブローチ2点 2,000円

⇒服飾品・服飾雑貨 6点 26,000円と入力

レシート明細に、品名・単価・数量を入力する必要はありません。

商品カテゴリーとその合計数量・合計金額をまとめて入力すればOKです。

商品カテゴリーボタンは是非カスタマイズして使いましょう。
必要なボタンだけを表示することで購入記録の入力が大幅に楽になります。
(カスタマイズ方法は企業管理システムマニュアル1-9を参照)



免税手続き > 免税購入の可否判定

入力された商品代金が、法令上定められている同一人物/同一日/同一店舗での消耗品購入金額の上限(¥5,000～¥500,000)に達するかどうかをアプリが自動判定し、達している場合には「当日中に既に購入された金額」を確認画面に表示することで、お客様へ免税購入が可能な残り枠の金額を提示することができます。

例1)

午前中に450,000円の消耗品を購入。

その人が午後に60,000円の消耗品の免税購入を希望。

アプリは過去履歴を自動検知し、すでに450,000円購入し、
その本人は残り枠50,000円以下までしか免税購入できない
旨のワーニングメッセージを表示する。

例2)

午前中に500円の消耗品を購入。

その人が午後に同じ店舗に来店し2000円の消耗品の免税
購入を希望。

アプリは同一日における追加購入であることを自動検知し、
同一日に合計7000円の消耗品購入となることから、2000円
の免税購入を許可。



免税手続き > 国税庁サーバーへの送信



- ① 「パスポート情報」「購入記録」を最終確認します。
- ② 修正したい場合には、編集ボタンや▶マークをタップすると、再編集が可能です。
- ③ 「送信」をタップすると、データが国税庁サーバーへ送信されます。

-メモ①- 免税手数料の情報欄について(顧客負担型プランを選択している企業のみ表示されます)
免税手数料に関する金額が自動計算されています。

- ・免税された消費税額= 今回のお買い物で免除された消費税の合計額
- ・免税手数料= お客様から頂く免税手続き手数料(税込／税抜)
- ・左記の差額= 免税合計-免税手数料

税込表示
 免税された消費税額 5,000円
 免税手数料(税込) 1,100円
 左記の差額(税込) 3,900円
 海外差 

税抜表示
 免税された消費税額 5,000円
 免税手数料(税抜) 1,000円
 左記の差額(税抜) 4,000円
 海外差 

※ 免税手数料は、企業管理システムの設定で税込/税抜の表示切替が可能です。

※ この手数料情報欄は企業管理システムの企業情報設定にて**非表示化することも可能**です。

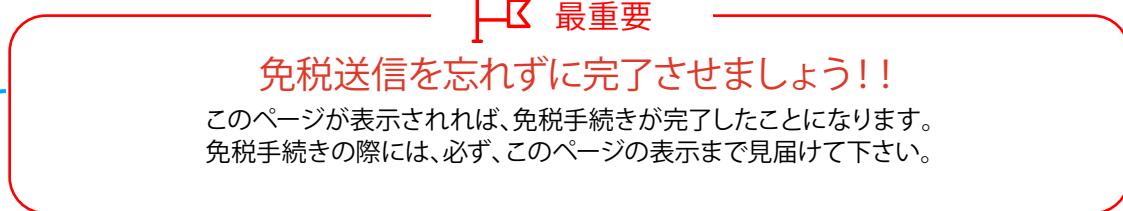
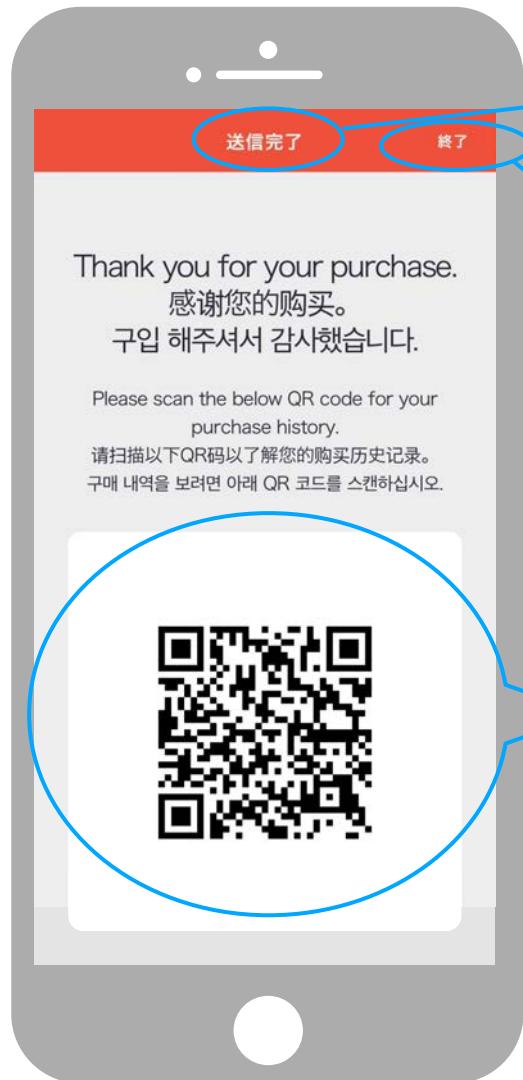
免税手数料をお客様に課金しない場合には非表示にしておきましょう。

※ 免税手数料の課金や手数料率の変更は、サポートデスクまでご依頼ください。

-メモ②-
一般品と消耗品との合算免税(一般品を消耗品として免税する手法)を行いたい場合には、商品区分「一般品」をタップして下さい。商品区分が「消耗品」に変更できます。
再度タップすると元に戻せます。

免税手続き > 送信完了

国税庁サーバーへの送信が完了しました。終了ボタンをタップするとアプリのスタート画面に戻ります。



「終了」をタップすると、トップページに戻ります。



-メモ- 電子レシートの利用
 QRコードをお客様がスマートフォンカメラで読み取ると
電子レシートがお客様のスマートフォン画面に表示されます。
 必要に応じて、QRコードをお客様に提示してください。
 ※QRコードの提示は任意です。法令の定めではありません。

免税手続き > 一般品を消耗品に変更する方法

法令上、一般品と消耗品との合算免税が認められています。

具体的には、一般品の商品区分を消耗品に変更することで、全ての商品を消耗品として取り扱うことができます。

ただし、消耗品扱いにした場合には消耗品の上限ルール(上限50万円までしか免税できない)が適用されます。



商品区分「一般品10%」表示をタップすると、
「消耗品10%」に切り替える事ができます。
再度タップすると「一般品10%」に戻せます。

免税手続き > オフラインモード

企業管理システムにてオフラインモードONの場合には、オフライン機能が有効となります。



オフライン機能が有効の場合、インターネット接続がなくても免税手続きを継続することができます。

その際、免税データはアプリ内部に一時保管され、画面右上部に  マークが点滅します。

その後、ネット接続の復旧時に、免税データは国税庁サーバーに自動送信され、アプリ内部でのデータ一時保管は解消されます。



 マークの点滅が継続して止まない場合には、店内インターネット回線の接続障害が起きている可能性があります。

その場合、すみやかにシステム担当者に連絡し、店内インターネット回線の復旧を依頼して下さい。

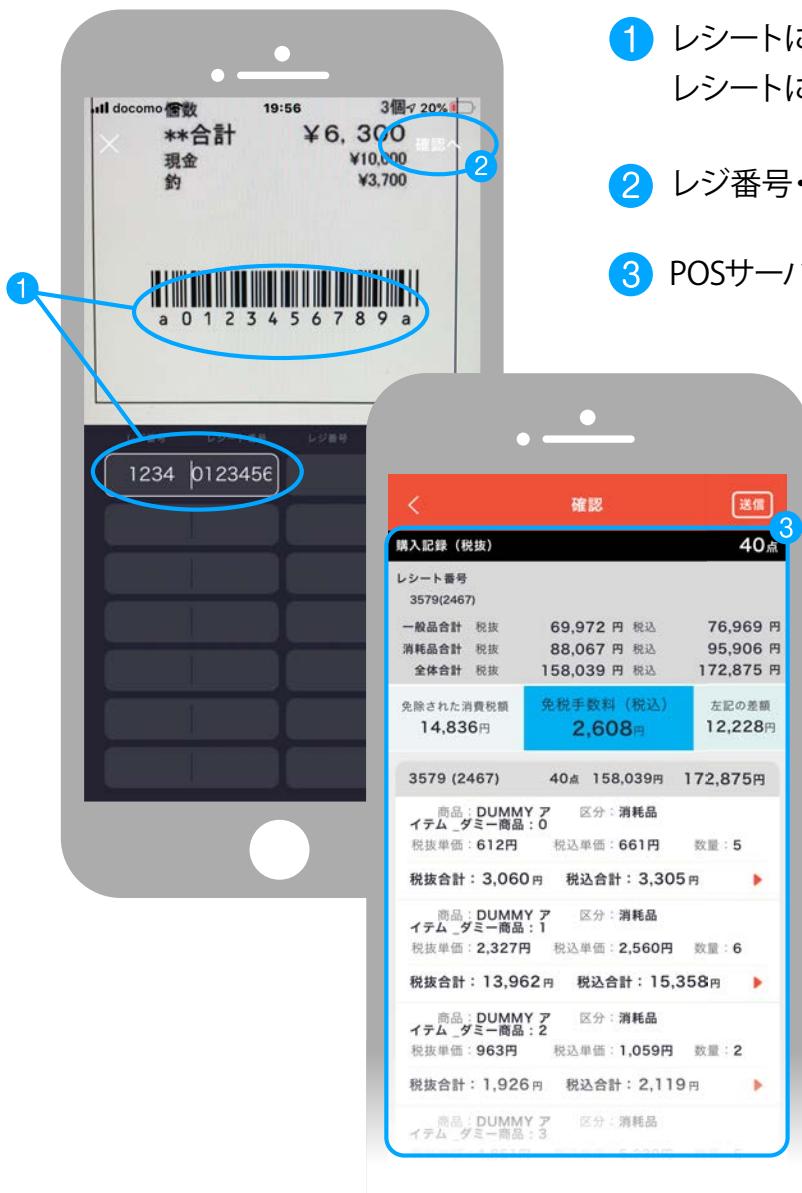
POS連動モードの使い方

この章(第4章)はPOS連動機能を
ご契約の企業様のみご覧下さい。

免税手続き >商品情報の入力

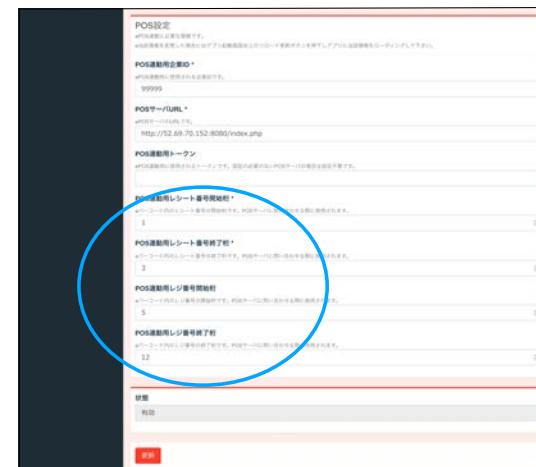
レジ番号およびレシート番号を入力して下さい。

次に、画面右上にある「確認」ボタンをタップして下さい。



- 1 レシートにバーコード記載がある場合にはバーコードを読み取ります。
レシートにバーコード記載がない場合にはキーボード入力します。
- 2 レジ番号・レシート番号を入力後、「確認へ」をタップします。
- 3 POSサーバーと通信し、購買明細情報が自動取得されます。

企業管理システム>企業情報画面



端末>設定画面



-メモ-

- ・バーコードのカラム位置は企業管理システムで設定できます。
- ・レジ番号は端末の設定画面にて固定値を設定しておくことも可能です。

免税手続き > 国税庁サーバーへの送信



- ① 「パスポート情報」「購入記録」を最終確認します。
- ② 修正したい場合には、編集ボタンや▶マークをタップすると、再編集が可能です。
- ③ 「送信」をタップすると、データが国税庁サーバーへ送信されます。

-メモ①- 免税手数料の情報欄について(顧客負担型プランを選択している企業のみ表示されます)
 免税手数料に関する金額が自動計算されています。

- ・免税された消費税額= 今回のお買い物で免除された消費税の合計額
- ・免税手数料= お客様から頂く免税手続き手数料(税込/税抜)
- ・左記の差額= 免税合計-免税手数料

税込表示
 免税された消費税額 5,000円
 免税手数料 (税込) 1,100円
 左記の差額 (税込) 3,900円
 海外差

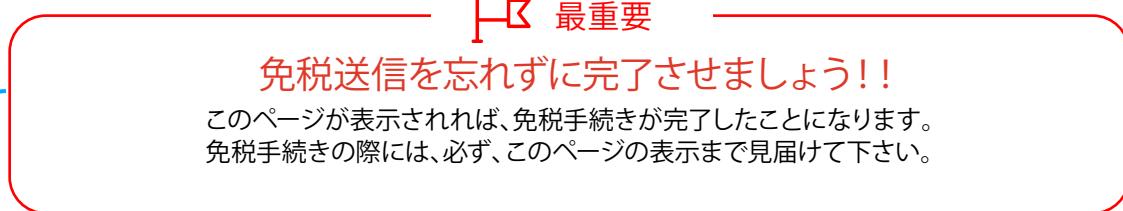
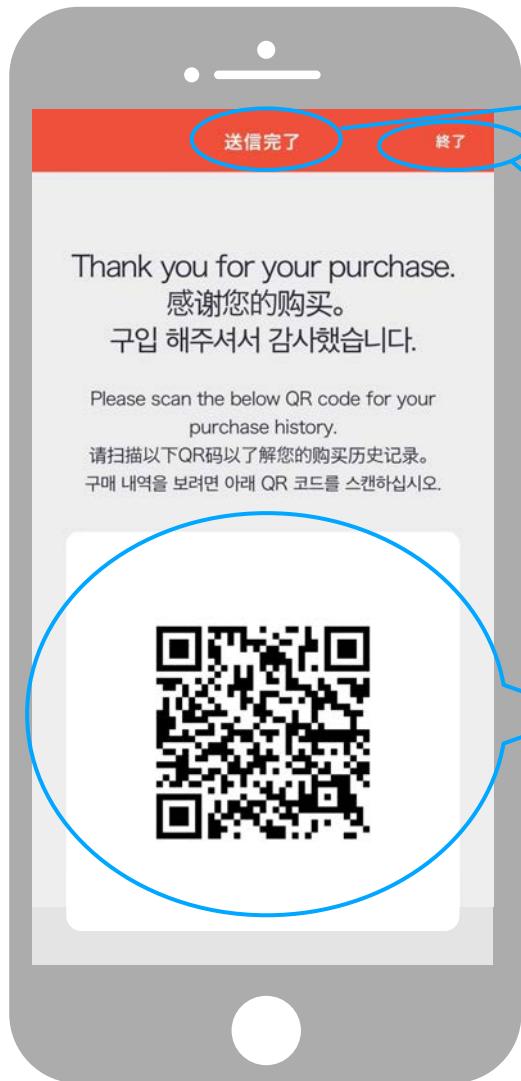
税抜表示
 免税された消費税額 5,000円
 免税手数料 (税抜) 1,000円
 左記の差額 (税抜) 4,000円
 海外差

※ 免税手数料は、企業管理システムの設定で税込/税抜の表示切替が可能です。
 ※ この手数料情報欄は企業管理システムの企業情報設定にて**非表示化することも可能**です。
 免税手数料をお客様に課金しない場合には非表示にしておきましょう。

-メモ②-
 一般品と消耗品との合算免税(一般品を消耗品として免税する手法)を行いたい場合には、商品区分「一般品」をタップして下さい。商品区分が「消耗品」に変更できます。
 再度タップすると元に戻せます。

免税手続き > 送信完了

国税庁サーバーへの送信が完了しました。終了ボタンをタップするとアプリのスタート画面に戻ります。



「終了」をタップすると、トップページに戻ります。



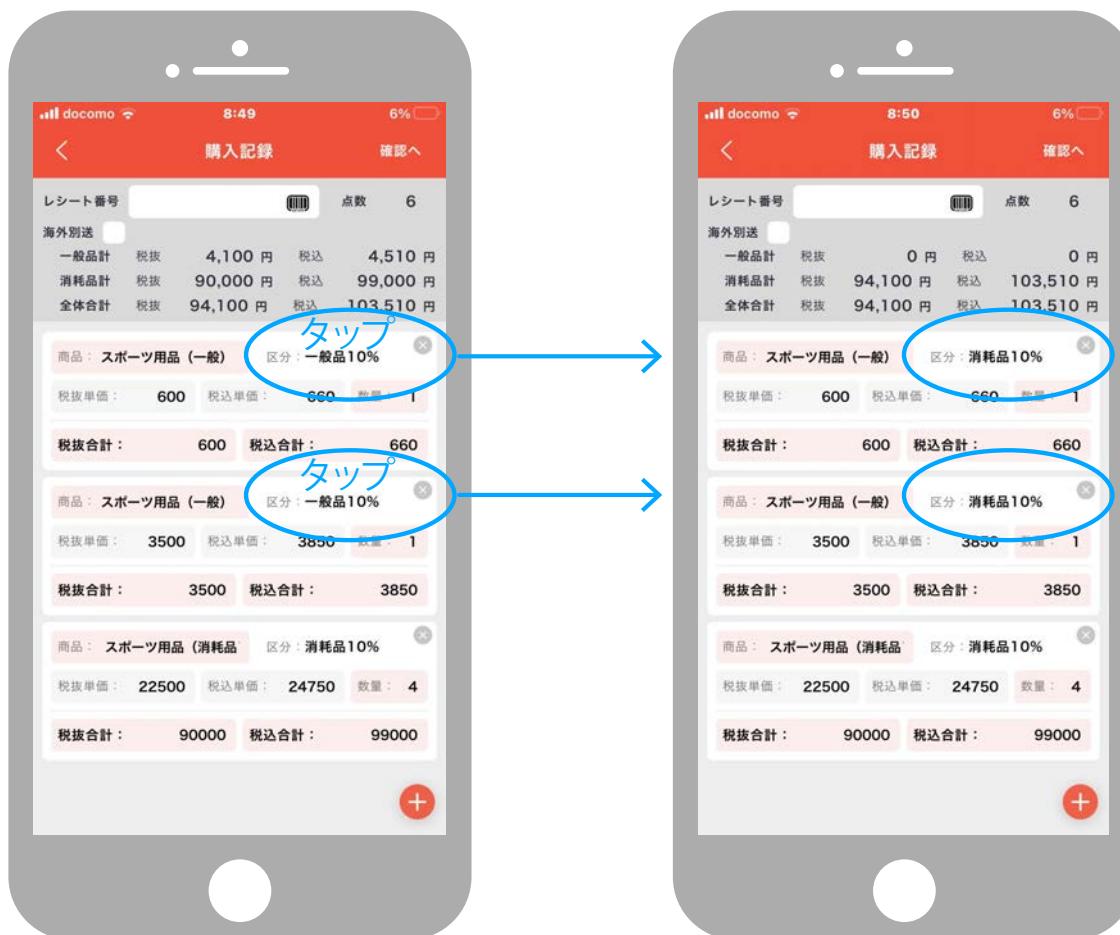
-メモ- 電子レシートの利用
 QRコードをお客様がスマートフォンカメラで読み取ると
電子レシートがお客様のスマートフォン画面に表示されます。
 必要に応じて、QRコードをお客様に提示してください。
 ※QRコードの提示は任意です。法令の定めではありません。

免税手続き > 一般品を消耗品に変更する方法

法令上、一般品と消耗品との合算免税が認められています。

具体的には、一般品の商品区分を消耗品に変更することで、全ての商品を消耗品として取り扱うことができます。

ただし、消耗品扱いにした場合には消耗品の上限ルール(上限50万円までしか免税できない)が適用されます。



商品区分「一般品10%」表示をタップすると、
「消耗品10%」に切り替える事ができます。
再度タップすると「一般品10%」に戻せます。

免税手続き > オフラインモード

企業管理システムにてオフラインモードONの場合には、オフライン機能が有効となります。



オフライン機能が有効の場合、インターネット接続がなくても免税手続きを継続することができます。

その際、免税データはアプリ内部に一時保管され、画面右上部に  マークが点滅します。

その後、ネット接続の復旧時に、免税データは国税庁サーバーに自動送信され、アプリ内部でのデータ一時保管は解消されます。



 マークの点滅が継続して止まない場合には、店内インターネット回線の接続障害が起きている可能性があります。

その場合、すみやかにシステム担当者に連絡し、店内インターネット回線の復旧を依頼して下さい。

免税履歴の表示 取消返品の処理 訂正の処理

免税履歴の表示>デフォルト表示

本日の当店における免税履歴が自動的に表示されます。



1 アプリトップページにある「履歴・訂正・取消返品」ボタンをタップする。

2 免税履歴一覧の中から対象となる取引をタップする。

3 取引の明細が表示される。

免税履歴の表示>日付期間で検索

日付期間を指定し検索ボタンを押すとその期間における当店舗の免税履歴が表示されます。



1 アプリトップページにある「履歴・訂正・取消返品」ボタンをタップする。

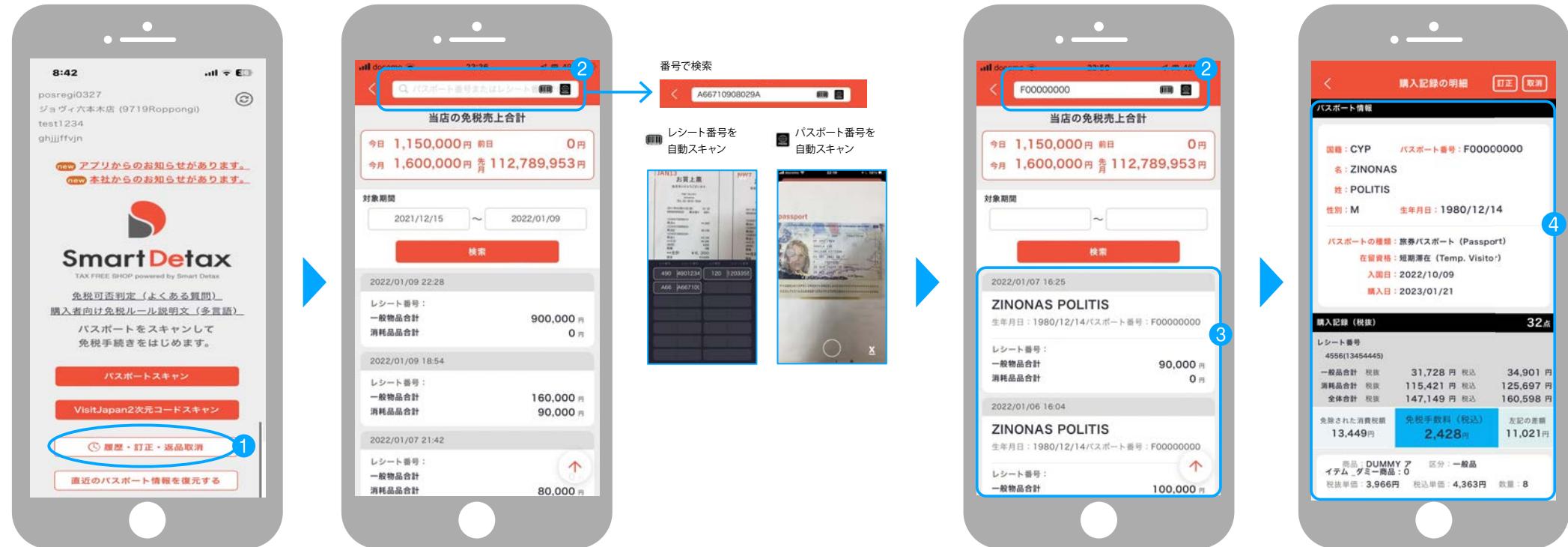
2 対象日付期間を入力し検索ボタンをタップすると

3 該当期間の取引データが一覧表示される。
その中から対象となる取引をタップする。

4 取引の明細が表示される。

免税履歴の表示> パスポート番号またはレシート番号で検索

パスポート番号やレシート番号が判れば、**全店舗**の免税履歴から過去データをピンポイントで検索できます。



1 アプリトップページにある「履歴・訂正・取消返品」ボタンをタップする。

2 ページ最上部の検索窓にパスポート番号またはレシート番号を入力する。

全店舗の半年間におけるパスポート番号またはレシート番号が一致するものを探せます。
対象:全店舗、期間:6ヶ月間

3 過去6ヶ月間の全店舗の免税履歴データの中から対象データが探索され、データが見つかった場合には一覧表示される。

その中から対象となる取引をタップする。

4 取引の明細が表示される。

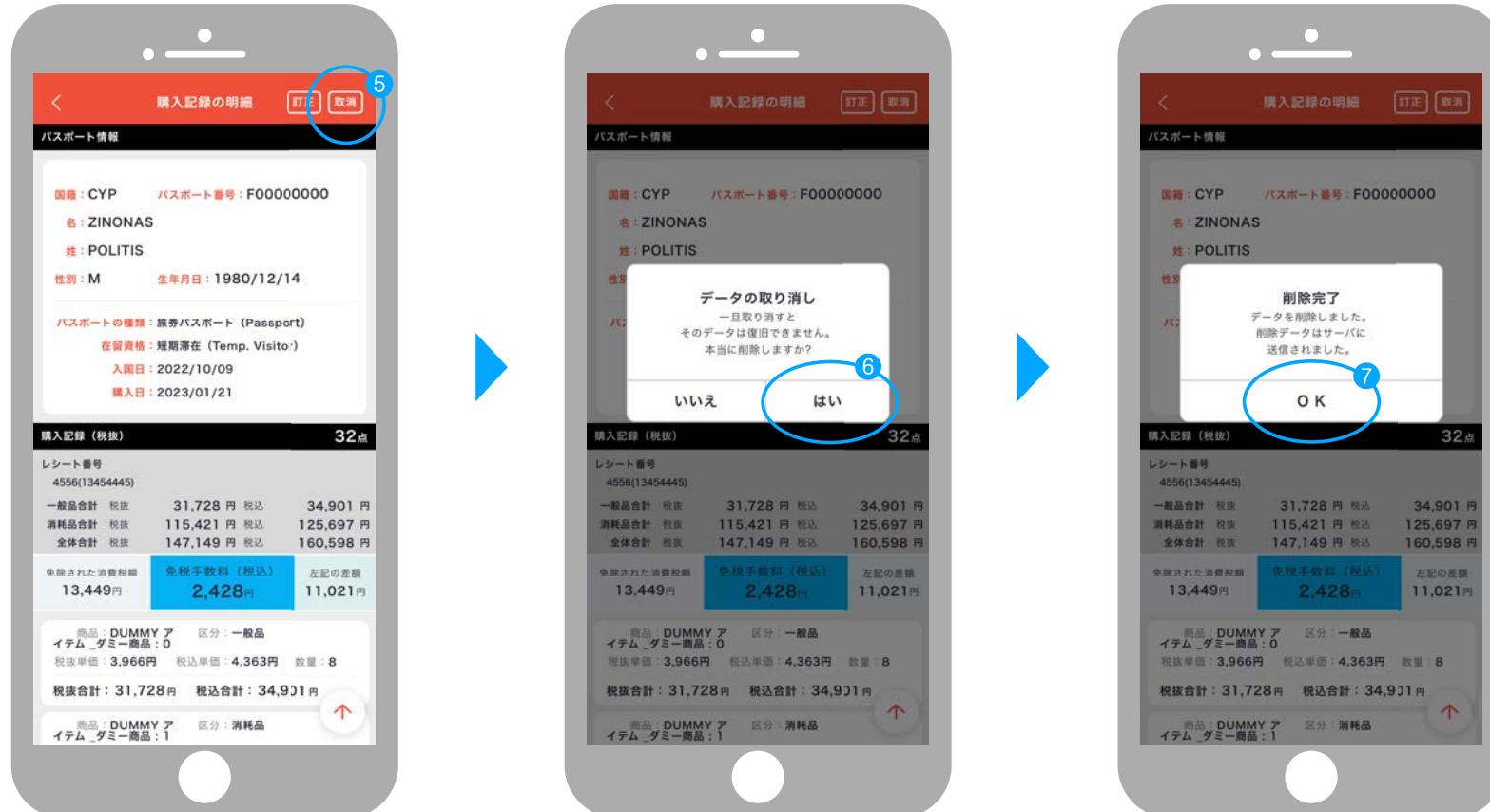
取消・返品の処理

免税販売の取り消しや返品があった場合、該当データを履歴検索機能により検索し、取り消し処理を行なって下さい。

それにより、取り消しデータが国税庁サーバーに送信されます。

なお、企業管理システム・店舗管理システムでも、免税取消・返品の操作が可能です。

免税履歴検索により
対象データを見つける



5 取消ボタンをタップする。

6 はいボタンをタップする。

7 OKボタンをタップする。

【注意】誤って取り消してしまわないように注意しましょう。

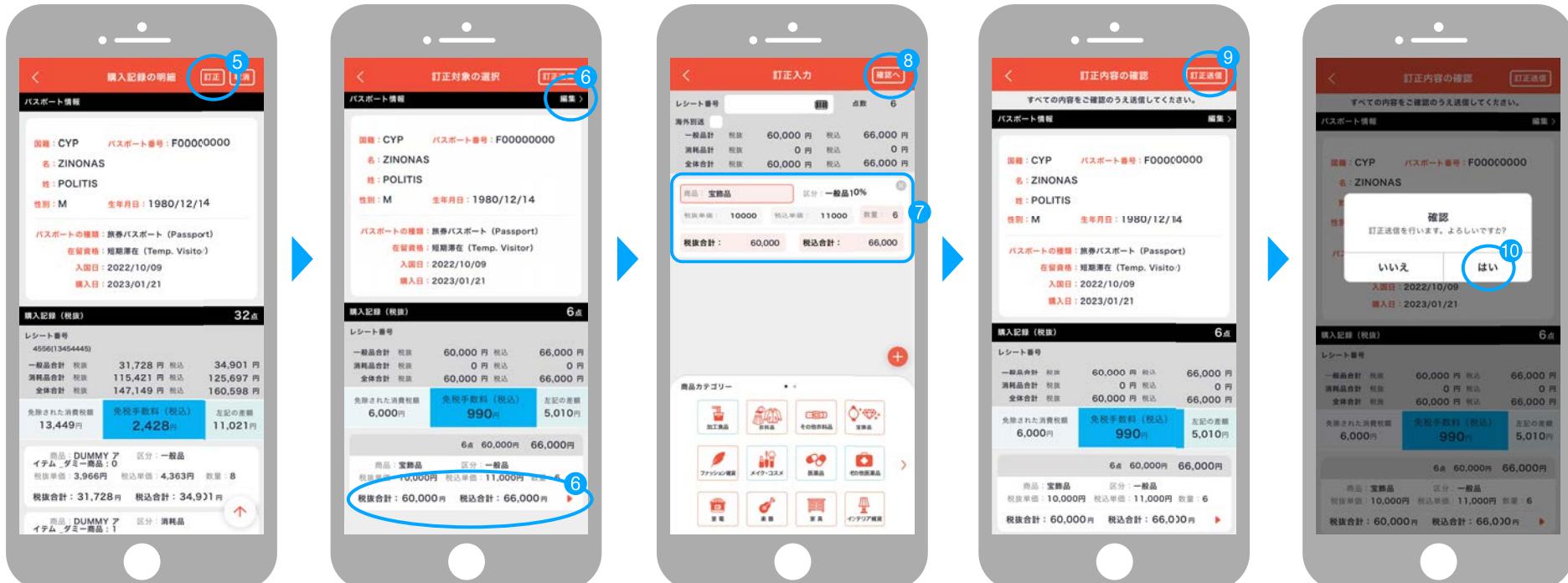
訂正の処理

過去の免税データを訂正したい場合、該当データを履歴検索機能により検索し、訂正処理を行なって下さい。

それにより、訂正データが国税庁サーバーに送信されます。

なお、企業管理システム・店舗管理システムでも、訂正の操作が可能です。

免税履歴検索により
対象データを見つける



5 訂正ボタンをタップする。

6 訂正したい明細行をタップする。

7 各項目を訂正編集し

8 確認ボタンを押す。

9 内容確認後、訂正送信ボタンを
タップする。

10 はいボタンをタップする。

免税手続き > 過去旅券データの復元

お使いの端末にて処理した過去旅券データが復元できます。(手続きが未完了である直近3回分)
手続き完了前にアプリ操作を中断し、データが消えてしまった場合等にご利用ください。



トップ画面から「直近の
パスポート情報を復元す
る」を選択します。

表示された直近のパス
ポート情報の中から、復
元したいデータを選択し
ます。

復元表示の確認画面が
表示されます。

選択したデータが復元
表示されます。

- 例) 下記のような場合にご活用ください。
- ・免税手続きの途中でアプリが途中終了してしまった場合。
 - ・免税手続きの途中でアプリトップ画面まで戻ってしまった場合。

お知らせ機能

本社/アプリからのお知らせ表示

アプリトップページに表示されているリンクをタップすると、本社管理部門やスマートデタックスからのお知らせが表示されます。



- ① スマートデタックスからのお知らせを表示(新バージョン、免税制度など)



- ② 本社管理部門からのお知らせを表示
(企業管理システムから投稿可能)

操作練習について(再掲)

免税アプリの操作練習方法(再掲)

初期設定準備完了後、操作練習を行いたい方は、下記の2つの方法いずれかをご利用ください。

練習モードの活用

アプリの設定画面を開き、練習モードのスイッチをONしてください。それにより免税処理をしてもデータはサーバーに送信されず、アプリ単体での操作練習が可能です。

【重要注意】

練習後はテストモードスイッチを必ずOFF(白)にしてください。
テストモードのままで、データ送信がされず、実際の免税処理が
できません。

iOS版

- iOSの設定画面を開く。
- SmartDetaxのアイコンをタップ。
- テストモードをONにする。



Android版

- アプリのトップページを開く。
- 設定ボタンをタップ。
- テストモードをONにする。



送信後データを取り消す

アプリまたは管理システムの取り消し機能を利用し、送信した免税データを取り消して下さい。取り消し処理を行うことにより、国税庁サーバーにも取消データが送信されるため、免税手続きを無効にできます。

【重要注意】

練習後は送信した練習データを必ず取り消してください。
取り消ししないと、本番の免税データ扱いになってしまいます。

送信したデータの取り消しは
5-4をご覧ください。

まとめ

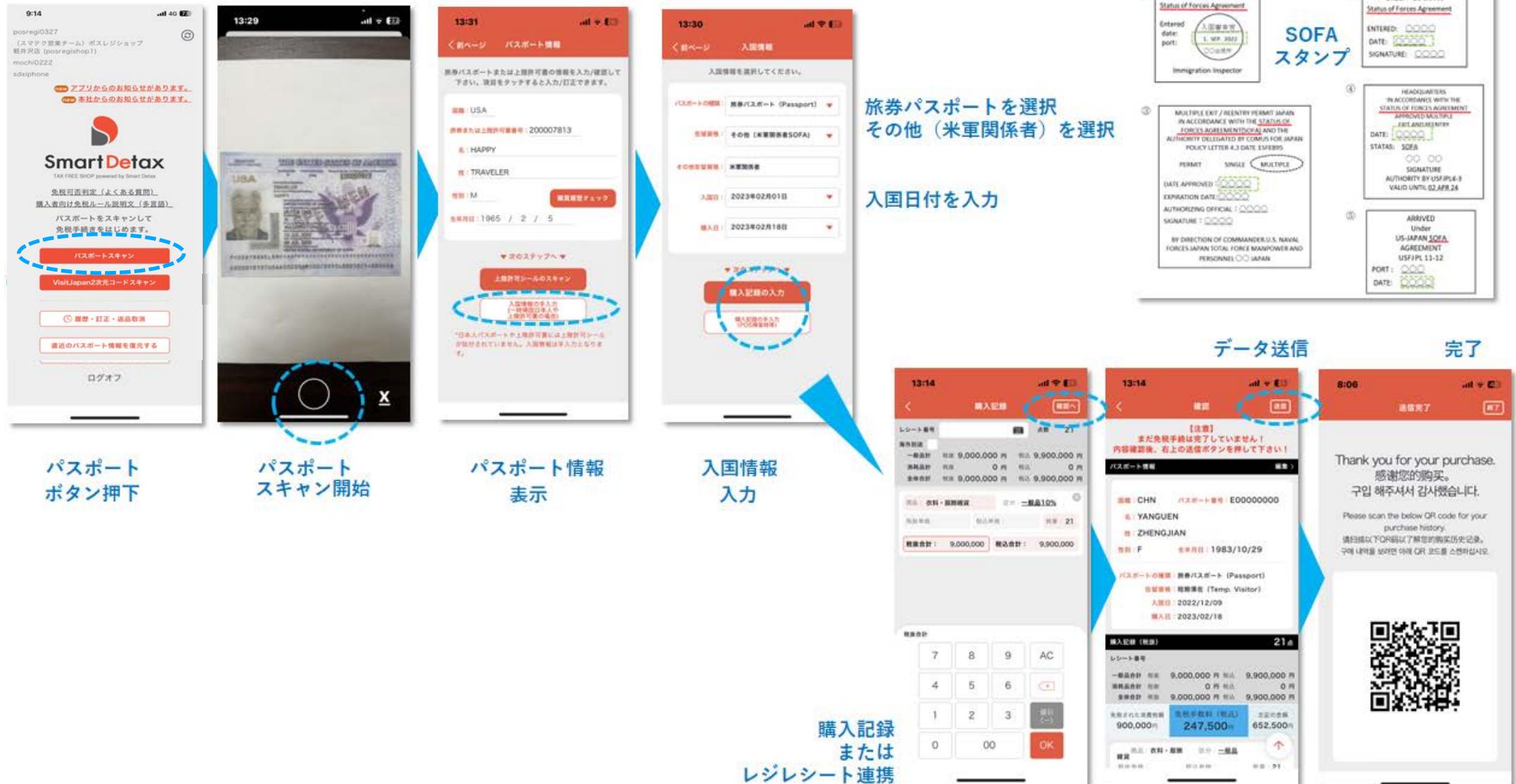
主な掲示物 (旅券等の種類)	在留資格	国籍	パスポートに必要な シールやスタンプ	上陸許可日から の経過時間	別途必要な 掲示書類
旅券パスポート	短期滞在	外国	上陸許可シール	6か月以内	—
旅券パスポート	外交	外国	上陸許可シール	無期限	—
旅券パスポート	公用	外国	上陸許可シール	無期限	—
旅券パスポート	一時帰国の日本人	日本	帰国印スタンプ	6か月以内	戸籍附表または海外在留証明書
旅券パスポート	米軍関係者	外国	SOFAスタンプ	無期限	—
上陸許可書	上陸許可書による 入国	外国	—	6か月以内	—
スマホQRコード ビジットジャパン 2次元コード	短期滞在・外交 ・公用	外国	—	6か月以内	—

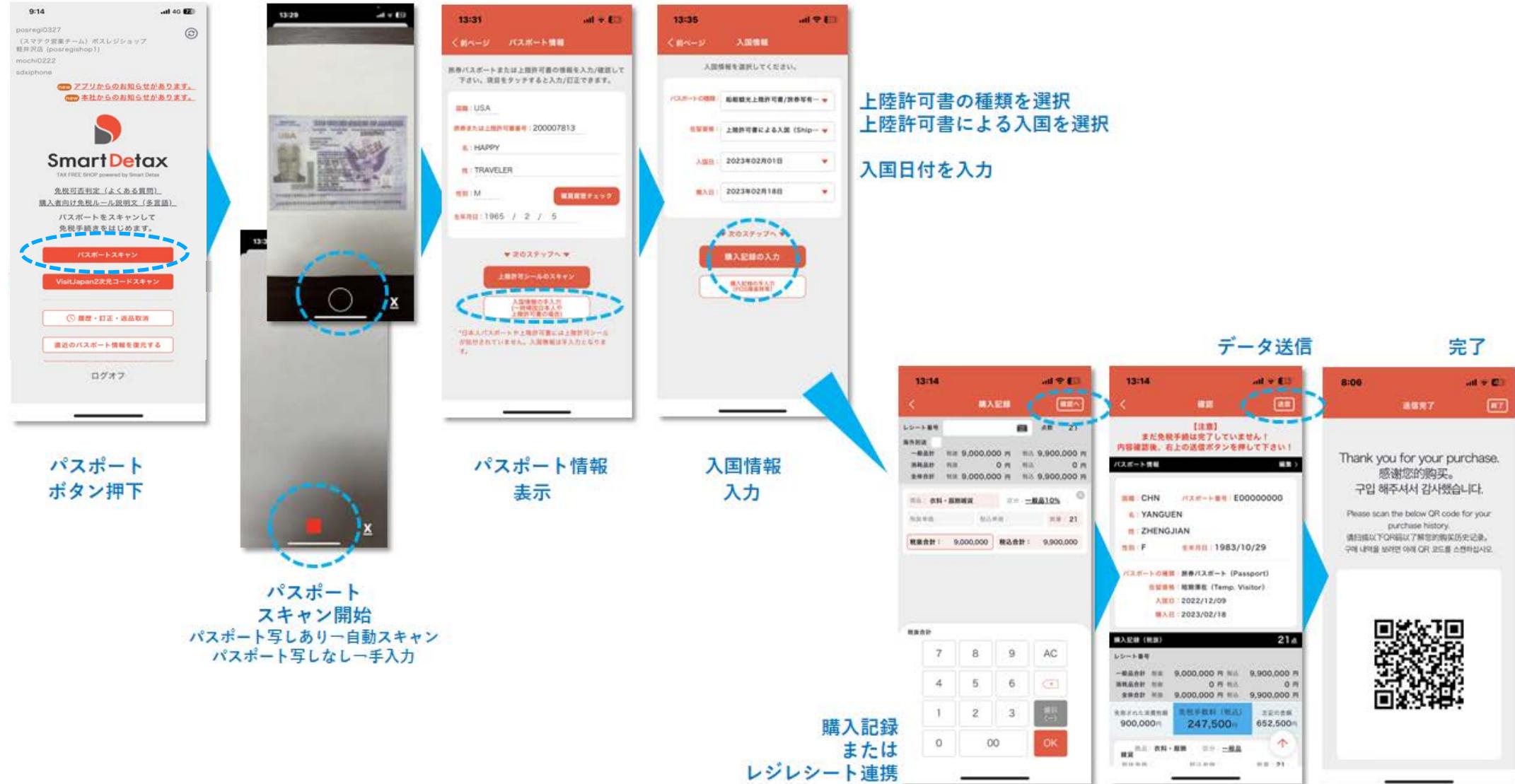
外国人(短期滞在・外交・公用)の免税



日本人(一時帰国)の免税(2023年4月1日からのルール)







外国人(ビジットジャパンアプリ)の免税 (2023年4月1日からのルール)

